

2023年1月26日

報道関係各位
プレスリリース

株式会社ドリーム・アーツ

契約管理業務のデジタル化に SmartDB®をヤフーが導入 ～あるべき姿を現場ユーザー目線で再構築～

大企業向けクラウドサービスの株式会社ドリーム・アーツ（東京本社：東京都渋谷区、広島本社：広島県広島市、代表取締役社長：山本 孝昭、以下 ドリーム・アーツ）は、このたびヤフー株式会社（以下 ヤフー）が、大企業向け業務デジタル化クラウド「SmartDB®（スマートデータベース）」を導入したことを発表します。ヤフーは2022年11月より SmartDB®で構築した業務アプリの運用を開始しました。

■変化に対応できる持続可能な契約管理システムへ刷新

ヤフーは、ポータルサイト Yahoo! JAPAN をはじめ、e コマース・会員サービス・インターネット広告など約100のサービスを提供しています。

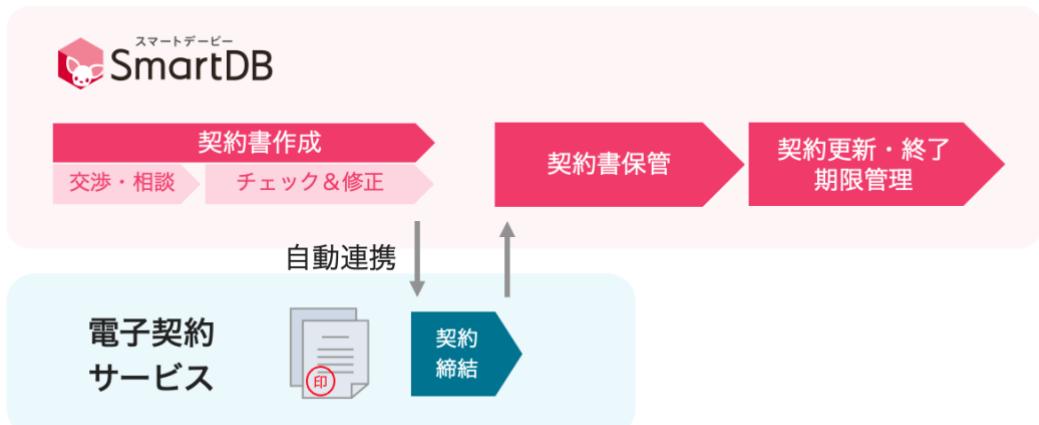
ヤフーではこれまで契約管理には、自社開発のスクラッチシステムを利用していました。しかし、経営環境の変化などによりシステムにおいても柔軟な対応が求められるなか、システム改修のたびに多大なコストや時間を要する状態に。また改修を続けて複雑化したシステムは、そもそも改修すること自体が難しい、外部システムとの連携ができない、などの課題も発生していました。

ドリーム・アーツが実施した調査^(※1)では、多くの大企業でヤフーと同様の、またはそれ以上の課題を抱えており、契約管理にかかる一連業務は「部分的なデジタル化」に留まっている、現場のユーザーほど各種システム同士や業務が分断していることに課題を強く感じている、といった状況が明らかになっています。ヤフーでは、こうした多くの課題を抱える大企業のなかで先駆けて、契約管理業務の“あるべき姿”を現場ユーザー目線で整理し、持続可能な業務システムとして再構築するため、SmartDB®の導入を決めました。

■高度な標準機能と拡張性が採用の決め手に

ヤフーでは契約ライフサイクル管理に特化したシステムや汎用型データベースツールなどを比較・検討。その結果、SmartDB®が契約管理業務など、自社の業務に応じた柔軟な画面設計や文書管理が実現できることはもちろん、社内外の環境変化を素早くシステムに反映できるという点が評価され採用に至りました。また、ほかのシステムとも柔軟なAPI連携が可能であり、ヤフーが利用している電子契約サービス「DocuSign」とも連携することで、契約管理業務全体がシームレスにつながる点も評価されました。

【イメージ：契約管理における SmartDB®の活用範囲】



■株式会社ドリーム・アーツ 執行役員 協創パートナー推進本部 本部長 増本 大介からのコメント

リーガルテックや改正 電子帳簿保存法への対応などバックオフィス向けクラウドサービスが次々と登場する昨今ですが、ドリーム・アーツの調査^(※1)にするとおり、契約管理におけるデジタル化の課題はいまだ山積みで、特に現場のユーザーの課題意識が高い状況です。

今回、ヤフーと取り組んだ契約管理システム構築プロジェクトでは、ヤフーを象徴する徹底した“ユーザーファースト”で進められています。数多くの事業を展開するヤフーにおいて、日々発生する膨大な数の契約業務では、厳格な法務チェックや徹底した期日管理が求められます。同時にヤフーでは、ユーザーである業務部門の生産性を高める仕組みであることも重要視しています。

ヤフーの契約管理を支える業務デジタル化基盤としてドリーム・アーツの SmartDB®が選ばれたことは、とても喜ばしく光栄なことです。そして、ヤフーの徹底したユーザー目線とドリーム・アーツとの協創で生まれた SmartDB®の業務アプリが、ヤフーの契約管理業務に貢献し、さらにはビジネスの発展に寄与することに期待し、心躍らせています。

この素晴らしい出会いと機会を通して、私たちドリーム・アーツも進化を加速させ、協創する喜びにあふれる人と組織と社会の発展に貢献していきます。

ドリーム・アーツは、今後も“協創”を理念に掲げ、「現場力強化」「企業競争力向上」に役立つトータルソリューションを提供してまいります。

※1 DreamArts 調査レポート

大企業の従業員 500 名に聞いた「契約業務のデジタル化」に関する調査

<https://www.dreamarts.co.jp/form/dair-wp10/>



SmartDB®（スマートデービー）について <https://hibiki.dreamarts.co.jp/smardb/>

SmartDB®は、大企業市場シェア No.1^(※2) の業務デジタル化クラウドです。 現場個別の業務から全社横断業務までノーコード・ローコードで開発可能。 ワークフローと Web データベースを中心に多彩な機能をもち、柔軟な外部システム連携、きめ細かな権限管理、高度なセキュリティ要件にも対応しています。 三菱 UFJ 銀行や大和ハウス工業、立命館大学など、大企業を中心に 50 万以上が利用中です。 サービス基盤としてマイクロソフトが提供するクラウドプラットフォーム「Microsoft Azure」を採用し、利用規模の変化やコンテンツの増加にも柔軟に対応できる環境を実現しています。

※2 テクノ・システム・リサーチ「2022年 SaaS型ワークフロー市場メーカーシェア調査」より

株式会社ドリーム・アーツについて <https://www.dreamarts.co.jp/>

1996 年 12 月に設立されたドリーム・アーツは「協創する喜びにあふれる人と組織と社会の発展に貢献する」をコーポレート・ミッションに、「情報共有」と「対話」を重視した独創的かつ高品質なソリューションとサービスを提供します。「協創力を究めよ」のスローガンのもと、ICT だけでも人間だけでもできないビジネス上の難題の解決を ICT と「協創」でお手伝いしています。大企業向け業務デジタル化クラウド SmartDB®、多店舗オペレーション改革を支援する「Shop らん®（ショップラン）」、大企業の働き方を変えるビジネスコックピット「InsuiteX®（インスイートエックス）」などのクラウドサービスを開発・提供しています。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社ドリーム・アーツ

〒150-6029 東京都渋谷区恵比寿 4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー29F

広報担当 佐藤

TEL : 03-5475-2502 / 080-7023-7602 E-mail : pr@dreamarts.co.jp

記載されている会社名および商品・サービス名は各社の登録商標または商標です。

©2023 DreamArts Corporation.